

ナンバリング		授業科目名 (科目の英文名)				区分						
M212P101		看護学概論 (Introduction to Nursing and Nursing Practice)				専門教育科目 基礎看護学						
必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員							
必修	1	1	通年	前期 火曜 4限 後期 月曜 4限	原田千鶴、清村紀子、佐藤祐貴子、 野上龍太郎他 山口育子 (非常勤) 内線 5035 E-mail charada@							
<p>【授業の概要・到達目標】 本科目は、「看護とは何か」を中心の問いとして、「看護学」の学問的素地や「看護実践」における主要概念の学問的特徴について理解をする。また、看護職の看護活動の場や役割・機能について学び、「看護の独自性」について考える。以上を通じて、「看護学」および「看護実践」への関心を高め、自己の「看護とは何か」の萌芽を育む。</p>												
具体的な到達目標						看護学科ディプロマポリシーとの対応						
						1	2	3	4	5	6	7
1. 看護の概念や定義を理解する。						○						
2. 看護の理論、研究、実践の関連について理解できる。						○						
3. 看護の語源や歴史の変遷を理解できる。						○						
4. 看護実践における主要概念 (健康、人間、環境、看護) について説明できる。						○						
5. 看護実践におけるコミュニケーションの意味を述べるができる。						○						
6. 看護実践を支える「法」と「倫理」の基礎知識とその意味を説明できる。						○						
7. 看護実践における看護職の役割や機能、責務について述べるができる。									○			
8. 看護の本質の「ケア」「ケアリング」について説明できる。						○						
9. 「看護とは何か」を考え言語化できる。												○
【授業の内容】												
回数	学習内容				方法	合同						
	コースオリエンテーション・学び合う仲間と知り合う				自己紹介	●						
1	看護の理論、研究、実践の関連と発展				講義							
2	看護という営みとその歴史				講義							
3	看護の先人の考える「看護」(1) F. ナイチンゲール				講義・演習	●						
4	看護の先人の考える「看護」(2) V. ヘンダーソン				講義・演習							
5	生活統合体としての「人間」				講義・演習	●						
6	多様な健康の定義と影響要因				講義・演習	●						
7	チーム医療と多職種連携・協働				講義・演習	●						
8	看護の「法」と「倫理」				講義・演習							
9	患者と医療者のコミュニケーション				講義	●						
10	医療・保健・福祉システムにおける看護の役割				講義・演習							
11・12	看護の本質「ケアリング」				講義・演習							
13・14	「看護」の学び				演習							
15	まとめ これからの看護の課題				最終講義							
【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】												
A: 知識の定着・確認	○	講義リアクションシート・期末テスト			自己の「看護」のイメージの変化を探求することができるよう、バズセッション、GW など対話通して学ぶ 視聴覚教材の活用した看護現象の理解							
B: 意見の表現・交換	○	BAZZセッション・グループワークと発表										
C: 応用志向	○	文献講読・自己の看護観 (1年目) の記述										
D: 知識の活用・創造												
【時間外学修の内容と時間の目安】												
準備学修	参考資料、テキスト、On-Demand教材 聴覚教材 (30分～45分)、5月連休・夏季休暇中看護理論の抄読 (5h)											
事後学修	講義リアクションシート 課題レポート (30分～60分)											
【教科書】①志々岐康子編；ナーシンググラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 (第7版) 2023 ②和田収 南裕子編 看護大辞典 第2版 医学書院 2010 ③F. ナイチンゲール；看護の覚え書 第8版 現代社 2023 ④V. ヘンダーソン 看護の基本となるもの (最新装版) 日本看護協会出版会 2016 ⑤M. メイヤロフ 看護の本質 ゆみる出版 1981												
【参考書】講義に際して随時紹介												
【成績評価方法及び評価の割合】												
評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9		
事前課題・講義リアクションシートの提出・講義GWの参加状況	30%	○				○	○					
期末テスト (前期)	40%	○	○	○	○	○	○					
課題レポート (後期)	30%	○						○	○	○		
【注意事項】												
【備考】	科目の連絡や資料配信にはMoodleを活用する。前学期は、先進医療科学科学生との一部合同講義・演習											

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験		看護師 原田千鶴 清村紀子 佐藤祐貴子 野上龍太郎
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○	山口育子氏
教員以外の指導に関わる実務経験者		認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML（コムル）での 電話相談員・SP・SP等研修企画講師
実務経験をいかした教育内容		COMLでは、患者が自立・成熟し、主体的に医療参加することを目指し、患者・医療者双方のコミュニケーション能力を高める活動に取り組んでいる。その経験をもとに医療現場における良いコミュニケーションを築くための知識や態度を学ぶ
授業形態		対面授業